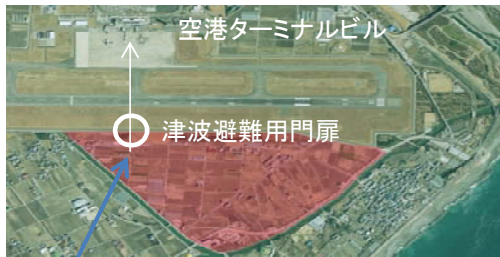



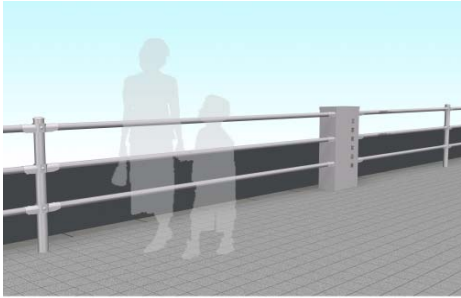

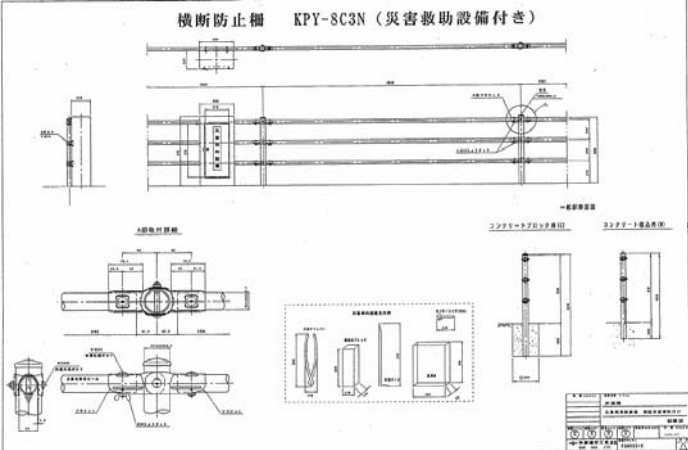


社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能 (空港への津波避難用門扉の設置)	分野	空港
対象とする災害	地震、津波		
社会資本の基礎データ	○名称 高知空港 ○所在地 高知県南国市 ○管理者 国土交通省		
整備(計画)の概要	<p>○目的                      空港の南側に位置し、周辺に高所の無い南国市久枝北地区の住民については、大津波警報発生時に、空港用地を迂回して空港ビルに避難する時間的余裕がないことから、空港南側の場周柵に津波避難用門扉を設置し、滑走路を横断して空港ビルまで避難を行うことで、周辺住民等の人命を保護する。</p> <p>○整備内容                      ・津波避難用門扉の設置。</p> <p>○工夫の特徴                      ・地元自治体の要望の受け入れ。                      ・地元住民による避難実験を行い効果を検証。                      ・津波避難用門扉の運用に関する覚書を南国市と高知空港事務所の間で締結。                      ・セキュリティ確保として、門扉には4桁の暗証番号を備えたプッシュ式錠を採用(暗証番号は定期的に変更)。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等                      ・前例が無く、また関係者が多岐(南国市、空港ビル、空港事務所、航空局等)にわたることから、その調整に苦労した。                      ・大津波警報発生時に、避難住民に対する避難門扉解錠番号の伝達方法の調整に苦労した。                      ・今後、避難訓練を定期的実施し、門扉運用の習熟を図る。</p>		
位置図、計画図、写真等	<div style="text-align: center;">  <p>高知空港</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>津波避難用門扉</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プッシュ式錠</p> </div> </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能 (カーブミラーへの海拔表示の設置)	分野	道路
対象とする災害	津波		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 津市道</li> <li>○所在地 三重県作成の津波浸水予測図(M8. 7)及び沿岸部の地域内で主要な市道</li> <li>○管理者 津市市役所建設部建設政策課</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波浸水予測地域内及び沿岸部の地域住民又は観光客等が津波を伴う大規模地震が発生した際の避難対策として、地域の海拔を知ることによって、迅速かつ安全に避難行動を取っていただくための判断材料に資する。</li> </ul> </li> <li>○事業名                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度海拔表示札設置業務委託。</li> </ul> </li> <li>○予算確保の方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設部よりカーブミラーへの海拔表示について、提案があり、危機管理部にて防災対策事業費として予算計上を行う。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーブミラー注意板と海拔表示札の一体化(834, 750円/164箇所)。</li> <li>・道路反射鏡設置指針により全面反射式注意板を原則として付設することとなっていることから、海拔表示札と注意板の一体化したものを設置することにより、老朽化した注意板の改善が図れた。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーブミラー設置管理者(建設部建設政策課)と協議を行い、海拔表示札の設置は、危機管理部防災室で設置し、維持管理は建設部建設政策課でおこなうこととした。</li> <li>・市有施設への設置を行ったことから、占用申請等の協議時間短縮が図れた。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点・課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県屋外広告物条例に抵触する恐れがあることから、関係機関等との調整に苦慮した。</li> <li>・カーブミラーの設置がされていない路線(市道)があることから、今後は、電柱等への設置についても検討していく必要がある。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">    </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能 (ガードレールへの災害救助設備の設置)	分野	道路
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 防災ガードレール</p> <p>○所在地 川西市道1296号 他(川西市南花屋敷19-4地先 他)</p> <p>○管理者 川西市が設置、地元自治会が管理</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の現場に居合わせた人たちが迅速に救助・救援活動ができるよう救助道具を利用する。</li> </ul> <p>○事業名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全施設整備事業。</li> </ul> <p>○整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害救助設備付防護柵を設置(約50万円/1基あたり設置工事を含む)。</li> </ul> <p>○工夫の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的な防護柵を設置する代わりに設置している。</li> <li>・重点地域としては阪神・淡路大震災で被害が甚大となった地区としている。</li> <li>・設備箱の収納内容は、建物等に取り残された人を救助できる工具類として(1)クリッパー(2)八角バール(3)丸型ショベル(4)爪付ジャッキ(5)布坦架(6)自家発電型ライト(7)のこぎり</li> <li>・布坦架を利用する場合は防護柵を活用できるようになっている。</li> </ul> <p>○調整で苦労した点・課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が災害時にすぐ利用できなければならないので、地元自治会に管理をしてもらうための調整に難航した。そのため、設置の手続きとして地元自治会からの設置要望を受け、市が設置して地元自治会に貸付をして管理をお願いしている。</li> <li>・市内すべての地区に設置するには予算の関係上、長期的に継続していく必要がある。また現在は重点地区における設置を進めているが今後、他の地区に進めていくには地区の理解を求めているかなければならない。</li> </ul> <p>○地域住民への周知の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校区コミュニティ推進協議会を通じて説明、設置について要望を受けている。</li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>横断防止柵 KPY-8C3N (災害救助設備付き)</p>  </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (次世代エネルギー導入による道の駅の避難所としての活用)	分野	道路
対象とする災害	地震、風水害		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 国道303号 道の駅「星のふる里 ふじはし」</li> <li>○所在地 岐阜県揖斐郡揖斐川町東横山地内</li> <li>○管理者 岐阜県揖斐土木事務所</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害等の停電時にも道の駅の道路設備に電力を供給する。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅に太陽光パネル、燃料電池、蓄電池を設置し電源の独立性を確保。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害等で停電になった場合でも、道の駅の道路設備に電力を供給し、情報収集やトイレの使用、照明の確保、お湯の供給等の機能を確保し、道の駅の防災機能を高める工夫をしている。</li> <li>・非常時の電源としてだけでなく、平常時の省エネ、節電にも効果を発揮するようにしている。</li> <li>・防災機能強化が目的であるため、停電だけでなく耐震・耐寒・耐断水などの災害や悪条件でも安定して使えるようにしている。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点・課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入する設備は多くの用途で活用できるため、補助事業の趣旨に添って機能と用途を制限し、その制限を地元の関係者に理解してもらうこと。</li> <li>・今回導入する設備はあくまで実証試験を行うための設備であり、試験終了後には実証結果を広く公表し、防災関連施設への次世代エネルギー導入が自発的に進むように啓発を行う。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等			



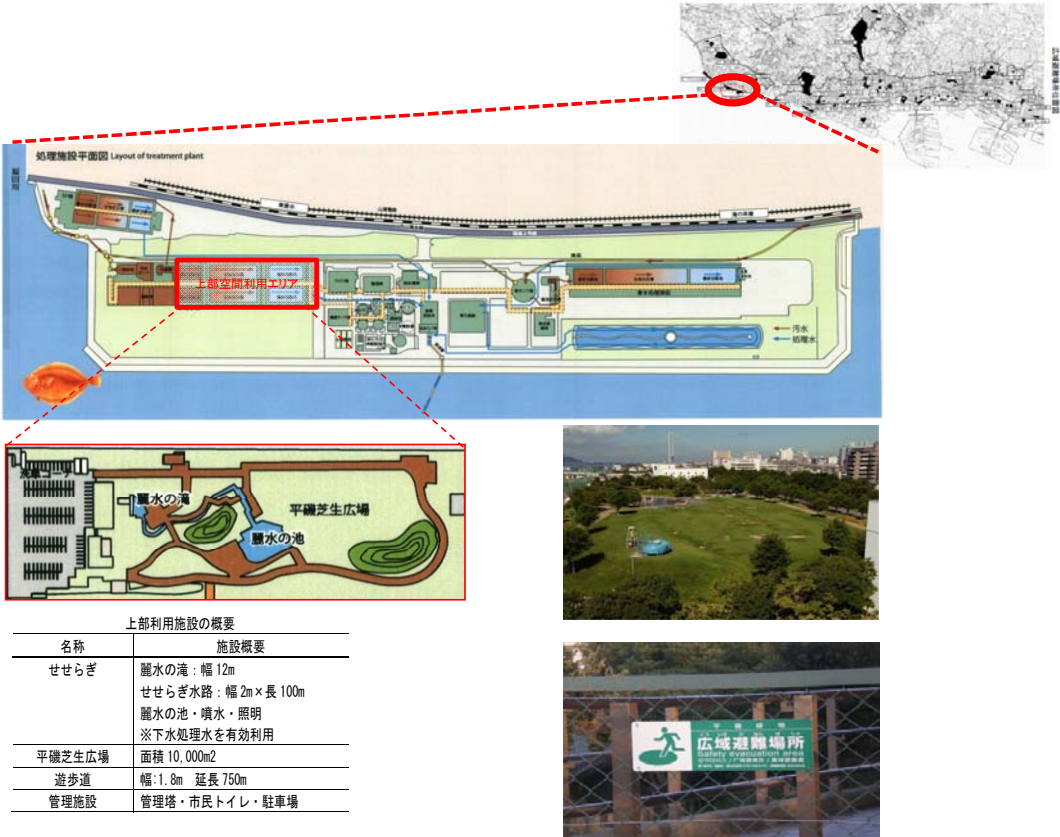
社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (防災活動拠点の一時避難場所としての活用)	分野	河川
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 滝里ダム防災施設</p> <p>○所在地 北海道芦別市滝里町</p> <p>○管理者 北海道開発局札幌開発建設部空知川河川事務所及び芦別市(共同施設)</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 被災時における一時避難場所として、「滝里ダム防災施設」の内、開発局管理部分も含め活用し防災機能の向上を図る。</p> <p>○整備内容 ・河川管理者と地方自治体が連携し、施設の設置及び維持管理を実施。</p> <p>(河川管理者(北海道開発局)) ・防災施設の施工及び維持管理。</p> <p>(地方自治体(芦別市)) ・維持管理。 ・地域防災計画で一時避難所への位置づけ。</p> <p>○工夫の特徴 ・河川管理者と地方自治体で共同で施工及び維持管理を行っている。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・特になし。</p>		
位置図、計画図、写真等	   <p> <span style="border: 1px solid green; display: inline-block; width: 15px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 芦別市単独管理範囲(レストラン等)  <span style="border: 1px solid blue; display: inline-block; width: 15px; height: 10px; vertical-align: middle;"></span> 北海道開発局管理範囲         </p>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能、災害応急対応・復旧支援機能 (防災活動拠点の一時避難場所としての活用)	分野	河川
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	<p>○名称、所在地、管理者</p> <p>福地ダム地域防災センター、沖縄県、沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所福地ダム管理支所                      羽地ダム地域防災センター、沖縄県、沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所羽地ダム管理支所                      大保ダム地域防災センター、沖縄県、沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所大保ダム管理支所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災時における地域住民等の避難場所や復旧活動の拠点として活用を図ることを目的とする。</li> </ul> <p>○整備内容 (ダム管理者)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災センター。</li> <li>ヘリポート(各ダム場外離着陸場の使用が可能)。</li> <li>非常用電源(ダム非常用発電設備から電源を供給)。</li> </ul> <p>(地方自治体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域防災計画へ位置づけ。</li> </ul> <p>○工夫の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>復旧活動等が迅速かつ的確に実施できるよう各自治体と協定を締結。</li> </ul> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害が長期化した場合の非常用電源(燃料)の確保。</li> </ul>		
位置図、計画図、写真等			

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能 (都市公園の避難場所としての活用)	分野	公園
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 国営飛鳥歴史公園</p> <p>○所在地 奈良県</p> <p>○管理者 近畿地方整備局 国営飛鳥歴史公園事務所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 被災時において地方自治体の避難地に指定されている。</p> <p>○整備内容 奈良県明日香村:一時避難地の位置付け。 奈良県奈良市:広域避難地の位置付け。</p> <p>○工夫の特徴 特になし。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 特になし。</p>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>石舞台地区 高松塚周辺地区</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>石舞台地区</p>  <p>高松塚地区</p> </div> </div> <p>災害発生時は公園利用者及び村民等の一時避難場所として活用</p>		





## 社会資本の多面的活用事例シート


機能(テーマ)	一時的避難支援機能、一時の生活支援機能 (下水処理場の広域避難場所としての活用)	分野	下水道
対象とする災害	大火		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 神戸市垂水下水処理場</li> <li>○所在地 神戸市垂水区平磯1-1-65</li> <li>○管理者 神戸市建設局西水環境センター</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・処理場の水処理施設の上屋を利用して、神戸市の防災機能を強化する。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・水処理施設上屋の広大な面積を利用して、神戸市の地域防災計画上の広域避難場所に位置づけた。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・水処理施設の上屋を指定しているため、整備費がかかっていない。</li> <li>また、通常時は市民の憩いの広場になっている。</li> </ul> </li> <li>○周辺住民への周知方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時一般公開し、市民の憩いの場として広場自体の認知度が高い上、広場への入り口には広域避難場所の看板を掲示している。</li> <li>・下水道部局の催事等にも利用され、機会のある度に広く周知を行っている。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等			





社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (公園施設の一次避難収容機能強化に資する施設(かまどベンチ、マンホールトイレ等)の設置)	分野	公園
対象とする災害	洪水、地震		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 防賀川公園</li> <li>○所在地 京都府京田辺市興戸十曾、草内大切</li> <li>○管理者 京田辺市</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施事業名                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・防賀川公園整備工事</li> </ul> </li> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害発生時の一次避難場所としての公園の機能を強化する。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・あずまや、カマドベンチ、マンホールトイレの設置</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・一次避難場所として利用できるようカマドベンチを設置しました。</li> <li>また、カマドベンチの燃料材として、側溝蓋をグレーチングではなく、木製製品を使用した。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点・課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画面積が広く数回に分けて工事を行う必要があり、公園の整備が完了したところから供用を開始しているため、工事を行うに際しては、利用者との調整に苦労した。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	位置図	計画図	
			
写真			

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (公園遊具内への防災備蓄倉庫の設置)	分野	公園
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 内灘町総合公園</li> <li>○所在地 石川県河北郡内灘町字宮坂に459</li> <li>○管理者 内灘町都市整備部都市建課</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・内灘町総合公園は内灘町地域防災計画において一時避難場所に位置付けられており、大型遊具内に備蓄倉庫を設置することにより施設の有効活用及び防災意識の高揚を図る。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型船型遊具内のスペースを有効活用し防災備蓄倉庫を設置。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースの有効活用とともに災害備蓄品の分散保管が図られた。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>大型船型遊具</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>遊具内備蓄倉庫</p> </div> </div>		







社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (学校への災害用マンホールトイレの設置)	分野	学校
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 災害用マンホールトイレ</li> <li>○所在地 京都府長岡京市 市内一円地内</li> <li>○管理者 長岡京市</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の暮らし支援として。</li> </ul> </li> <li>○事業名                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害用マンホールトイレ設置工事(長岡京市下水道地震対策緊急整備計画の1事業)。</li> </ul> </li> <li>○工夫の内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化した下水道管きょ(貯留式)並びに簡易なマンホールを設置。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災計画で避難所に指定された14の小中学校へ、災害用マンホールトイレを204基設置する。</li> <li>・既存の下水道管から学校敷地内に、下水道管きょを引き込み、貯留式のマンホールトイレ施設を設置するため大量の水洗用水を必要とせず、処理作業もない。</li> <li>・貯留式を採用しており、汚物などの滞留や流出防止、衛生的で環境面に配慮している。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点・課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の下水道施設と学校敷地内での位置関係を考慮しながら設置位置を検討した。</li> <li>・学校施設を所管している教育部局や学校の了解が必要であり、合意を得るための調整や協議にかなりの期間を要した。</li> </ul> </li> <li>○今後の検討課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に有事の際に使用する施設なので事実上未使用なままであり、また一部、グランド下に埋設されており、恒久的な維持管理について明確なルールが決まっていない。</li> <li>・また、有事や災害時での管理運営方法など、具体的なルールが明確化されていない。</li> <li>・マンホールトイレに付属する仮設テントや備品のストックを、今後、どのように整備・維持管理していくか。</li> </ul> </li> <li>○地域住民への周知の方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市防災訓練時に地元自治会にテントやトイレの組立てを体験してもらう。特に女性から支持が多い。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>		

社会資本の多面的活用事例シート																					
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (学校体育館の避難所機能強化に資する高断熱化)	分野	学校																		
対象とする災害	地震																				
社会資本の基礎データ	○名称 札幌市東札幌小学校屋内運動場 ○所在地 札幌市白石区東札幌4条5丁目4-20 ○管理者 札幌市教育委員会																				
整備(計画)の概要	○目的 ・札幌の冬期の外気温を想定(-10℃)し、災害等により暖房がストップした場合でも、避難者の生活環境の確保を図るため、収容避難施設の冬期寒冷対策として高断熱化を行う。 ○整備内容 ・屋根、外壁、床、窓を高断熱化する。 【断熱効果のシミュレーション結果】 ・外気温-10℃、床面積1,078.5㎡、収容人員480人(一人当たり面積2.2㎡)、暖房なしとして試算。 ○工夫の特徴 ・外気温-10℃、無暖房の条件で室温10℃以上を確保(シミュレーション結果)。 ・副次効果として、高断熱化により冬期暖房エネルギーの消費削減。 ○調整に苦労した点・課題 ・高断熱化及び夏期日射によるオーバーヒート対策として日射遮蔽ルーバー、ナイトパージ(夜間時の外気導入)設備を設置する。 ・平成25年度の屋内運動場建設中に、平成26年度に実施する高断熱化の実証実験の方法を検討する。 ・平成26年度に高断熱化の実証実験を実施するとともに、他の新築・改築施設の適用に向けた検討を行なう。																				
位置図、計画図、写真等	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>標準断熱</th> <th>高断熱化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋根</td> <td>断熱材20mm</td> <td>断熱材120mm</td> </tr> <tr> <td>外壁</td> <td>断熱材25mm</td> <td>高性能断熱材60mm</td> </tr> <tr> <td>床</td> <td>断熱材25mm</td> <td>断熱材60mm</td> </tr> <tr> <td>窓</td> <td>普通ペアガラス</td> <td>高断熱ペアガラス</td> </tr> <tr> <td>室温</td> <td>2.2℃</td> <td>10℃</td> </tr> </tbody> </table>			標準断熱	高断熱化	屋根	断熱材20mm	断熱材120mm	外壁	断熱材25mm	高性能断熱材60mm	床	断熱材25mm	断熱材60mm	窓	普通ペアガラス	高断熱ペアガラス	室温	2.2℃	10℃	
	標準断熱	高断熱化																			
屋根	断熱材20mm	断熱材120mm																			
外壁	断熱材25mm	高性能断熱材60mm																			
床	断熱材25mm	断熱材60mm																			
窓	普通ペアガラス	高断熱ペアガラス																			
室温	2.2℃	10℃																			



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (水道送水管(空気弁)への応急給水支援設備の設置)	分野	上水道
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	○所在地 名古屋市中区三の丸三丁目1-2 ○管理者 公営企業管理者 企業庁(愛知県企業庁)		
整備(計画)の概要	○目的 ・災害時の暮らしの支援として。 ○事業名 ・愛知県水道用水供給事業。 ○整備内容 ・応急給水支援設備は、県営水道の送水管(空気弁)に設置して、大規模地震の発生時に、避難場所(学校、公園等)、医療機関、福祉施設等に対し、市町村と連携して、臨時に、県営水道から直接、水道水を供給するための設備。 ○工夫の特徴 ・既存の水道管属具である空気弁に給水栓としての機能を追加したもの。 ○調整に苦労した点・課題 ・県営水道の送水運用に大きな支障を与えないよう、水道事業者(県営水道から受水する水道事業者に限る) 当り10箇所を限度とし、水道事業者の要望を調整のうえ設置した。 ・発災時に円滑に運用されるよう、応急給水支援設備を利用した応急給水現地訓練を毎年、水道事業者等と連携して実施している。 ○周辺住民への周知方法 ・ホームページで公表。		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1 応急給水支援設備</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2 仮設給水栓による応急給水状況</p> </div> </div>		





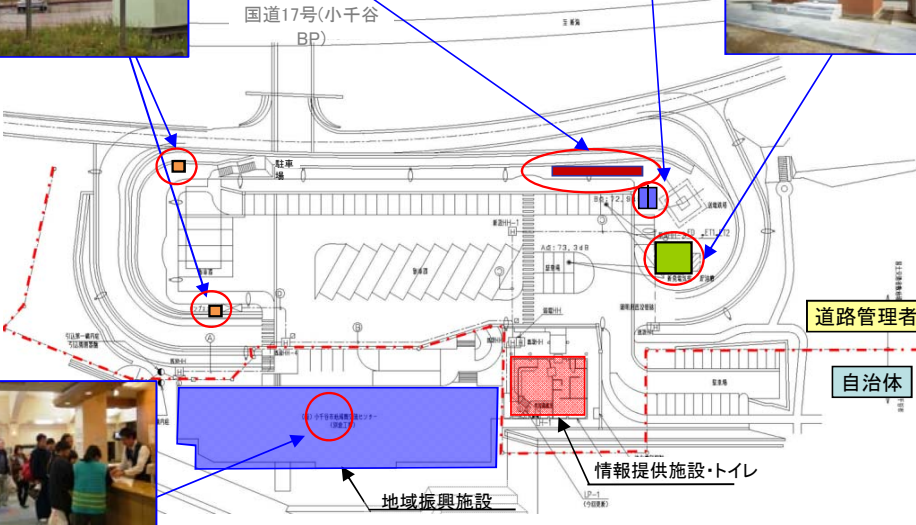
社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能 (自然湧水・下水処理水用水路の緊急時における上水用水路としての活用)	分野	上水道
対象とする災害	事故、災害による水質汚染		
社会資本の基礎データ	○名称 豊平川水道水源水質保全事業 ○所在地 北海道札幌市南区定山溪～白川地区 ○管理者 札幌市水道局		
整備(計画)の概要	○目的 ・本事業は、より安全で良質な水道水を、将来にわたり安定して供給することを目的としており、通常時は河床から湧出するヒ素等を含んだ自然湧水や下水処理水を導水渠を通し、浄水場の取水地点より下流に放流することにより、原水質の向上を図るものである。また、水質汚染事故や災害時には、豊平川上流の清浄な水を導水渠を通して浄水場に直接導水し、断水を回避させる。 ○事業名 ・豊平川水道水源水質保全事業。 ○整備内容 ・取水堰、導水渠、放流調整池等の新設。 ○工夫の特徴 ・通常時と災害時で、水路を切替えることにより、清浄な原水を確保する機能を有したシステムである。 ○調整に苦労した点・課題 ・前例のない事業であるため、関係機関との協議に長期間を要している。 ○周辺住民への周知方法 ・ホームページやパンフレット等の配布物を活用し、事業概要等を周知している。		
位置図、計画図、写真等			

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	地震、豪雨、豪雪		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 国道39号「道の駅」おんねゆ温泉</p> <p>○所在地 北海道</p> <p>○管理者 北見市</p> <p>○道路管理者 北海道開発局網走開発建設部北見道路事務所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、「道の駅」における防災機能の強化を図る。</p> <p>○整備内容 道路管理者と地方自治体が連携し必要な施設の整備を図る。 (道路管理者) ・情報提供装置の整備 ・災害用簡易トイレの配備 ・非常用電源の確保 ・非常用照明の確保 等 (地方自治体) ・地域防災計画への位置づけ ・情報提供装置設置場所の無償提供、電気料の負担及び日常管理 ・防災備蓄資機材等の保管場所の無償提供 ・防災用備蓄品の日常管理 ・住民広報(一時避難場所) ・災害時における対応全般 等</p> <p>○工夫の特徴 ・網走開発建設部、地方自治体、関係団体等で構成する防災連絡協議会を通し相互間の連携を図っている。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・特になし。</p>		
位置図、計画図、写真等	<p style="text-align: center;"><b>■ 防災機能整備事例 道の駅「おんねゆ温泉」(北海道)</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備箇所</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆大型モニター&lt;屋内&gt;</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆道路情報端末&lt;屋内&gt;</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>◆非常用電源</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆災害用簡易トイレ</p>  </div> </div> <p>【凡例】◆:国土交通省</p>		



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	地震、津波		
社会資本の基礎データ	○名称 国道45号道の駅たろう ○所在地 岩手県 ○管理者 東北地方整備局 三陸国道事務所 宮古維持出張所		
整備(計画)の概要	○目的 被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、「道の駅」における防災機能の付加を図る。  ○整備内容 ・道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (道路管理者) ・24h開放空間(休憩所、トイレ)の整備。 ・情報提供装置の整備。 ・非常用電源の確保。 ・避難誘導灯の整備(市街地～道の駅間)。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置づけ。 ・防災資材の備蓄(非常用仮設トイレ、毛布等)。  ○工夫の特徴 ・地方整備局と地方自治体、地元自治会で構成する検討会を設置し、相互の意見交換を十分行った上での整備を実施。  ○今後の検討課題等 ・災害発生時の情報連絡体制強化。 ・災害発生時の情報発信、支援体制の強化。		
位置図、計画図、写真等	■道の駅たろう防災機能の付加 		



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	地震、風水害		
社会資本の基礎データ	○名称 国道17号道の駅「ちぢみの里おぢや」 ○所在地 新潟県 ○管理者 北陸地方整備局長岡国道事務所小出維持出張所		
整備(計画)の概要	○目的 被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、「道の駅」における防災機能の強化を図る。  ○整備内容 道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (道路管理者) ・防災用トイレの整備。 ・非常用電源の確保。 ・災害用備蓄倉庫の整備及び、災害用資材の備蓄。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置付け(広域避難場所として指定し、看板を設置)。 ・車いす用簡易トイレ、毛布等災害用資材の備蓄。 ・地域振興施設を活用した被災者支援(温泉の無料開放:H16中越地震、H19中越沖地震時に実施)。  ○工夫の特徴 ・防災施設について被災時に円滑に活用できるよう、地方自治体と利用に関する覚書を締結。 ・地域のFM放送局と道の駅での災害緊急放送の協定締結。		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>◆ 防災用トイレ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆ 防災備蓄倉庫</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>◆ 非常用発電装置</p>  </div> </div> <p>◇ 広域避難場所案内看板</p>  <p>国道17号(小千谷BP)</p>  <p>◆ 国土交通省 ◇: 地方自治体</p> <p>◇ 地域振興施設による被災者支援(温泉の開放)</p>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	地震、風水害		
社会資本の基礎データ	○名称 国道116号道の駅「良寛の里わしま」 ○所在地 新潟県 ○管理者 北陸地方整備局長岡国道事務所柏崎維持出張所		
整備(計画)の概要	○目的 被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、「道の駅」における防災機能の強化を図る。 ○整備内容 道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (道路管理者) ・防災用トイレの整備。 ・非常用電源の確保。 ・災害用備蓄倉庫の整備及び、災害用資材の備蓄。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置付け(地域避難場所として指定)。 ・防災用トイレの敷地提供。 ○工夫の特徴 ・防災施設について被災時に円滑に活用できるよう、地方自治体と利用に関する覚書を締結。 ・地域のFM放送局と道の駅での災害緊急放送の協定締結。		
位置図、計画図、写真等	<p>◆ 非常用発電装置</p> <p>◆ 防災備蓄倉庫</p> <p>◆ 防災用トイレ</p> <p>【凡例】 ◆: 国土交通省</p>		



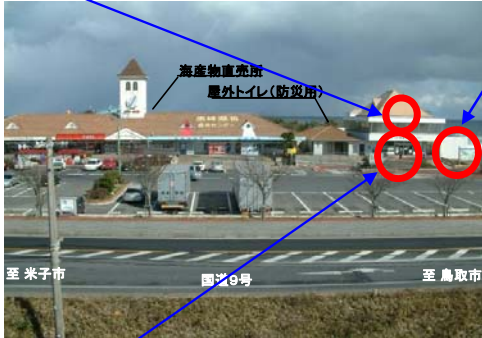

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	○名称 国道8号「道の駅」カモンパーク新湊 ○所在地 富山県射水市 ○管理者 北陸地方整備局 富山河川国道事務所 富山国道維持出張所		
整備(計画)の概要	○目的 災害時における輸送拠点施設として、「道の駅」における防災機能の強化を図る。  ○整備内容 道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (道路管理者) ・防災資材倉庫の整備。 ・情報提供装置の整備。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置づけ。 ・災害用備品の備蓄。  ○工夫の特徴 ・道路管理者と地方自治体間で「道の駅」の防災施設利用に関する覚書を締結の上、災害時の防災施設の利用方法等について調整を図っている。  ○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・防災施設を効率的に活用するため、被災時の体制づくりや合同訓練等のソフト面の充実。		
位置図、計画図、写真等	<p style="text-align: center;">防災機能整備事例 道の駅「カモンパーク新湊」</p> <p style="text-align: right;">全景</p> <p>◆防災備蓄倉庫      ◇災害用備品</p>  <p>◆情報提供装置</p> <p>【凡例】◆:国土交通省      ◇:地方自治体</p>		



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 国道8号道の駅こまつ木場湯</p> <p>○所在地 石川県</p> <p>○管理者 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 加賀国道維持出張所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 災害時において、避難・救援活動の拠点として、「道の駅」における防災機能の強化を図る。</p> <p>○整備内容 ・道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (道路管理者) ・防災用トイレの整備。 ・情報提供装置の整備。 ・防災資材倉庫の整備、資材備蓄。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置づけ。</p> <p>○工夫の特徴 ・市外からの複数の輸送ルートが確保でき、特に懸念される水害の影響がない等、地理的なメリットを考慮した避難・救援活動拠点としての位置付け。</p>		
位置図、計画図、写真等	<p style="text-align: center;"><b>防災機能整備事例 道の駅「こまつ木場湯」(石川県)</b></p> <p style="text-align: center;">全景</p> <p style="text-align: center;">防災資材倉庫</p> <p style="text-align: right;">防災用トイレ (使用時はテントを設置)</p> <p style="text-align: right;">情報提供装置</p>		

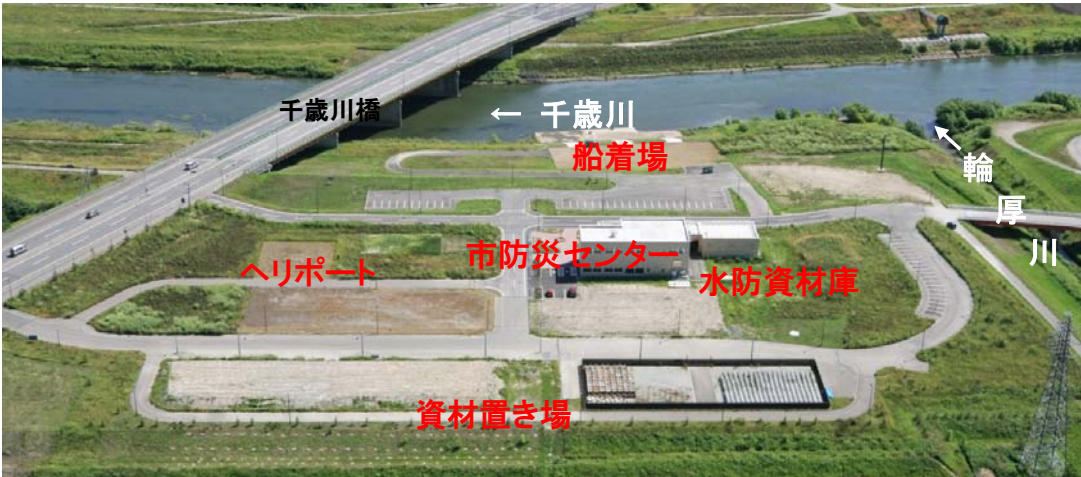



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	○名称 国道161号道の駅「藤樹の里あどがわ」 ○所在地 滋賀県高島市安曇川町青柳1162-1 ○管理者 近畿地方整備局 滋賀国道事務所		
整備(計画)の概要	○目的 大規模災害が発生した場合の道路利用者等の一時的な避難、収容場所として、「道の駅」における防災機能を確保する。 ○整備内容 ・道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (道路管理者) ・非常用電源の整備。 ・災害対応型トイレの整備。 ・情報提供装置の整備。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置付け。 ・災害発生時の人的支援。 ○工夫の特徴 ・地下水をトイレ排水に利用することで、平常時の活用も可能とした。		
位置図、計画図、写真等	<p>■防災機能整備事例 道の駅「藤樹の里あどがわ」(滋賀県高島市)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>非常用電源の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・停電時でも各電気設備が稼働</li> <li>・停電時でも情報の提供が可能</li> </ul>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><b>災害対応型トイレの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ排水に井戸水を活用</li> <li>・床下を排水貯留槽に改造</li> </ul>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>○道路情報提供施設 ○一時避難施設</p>  </div>  <p>位置図、計画図、写真等</p>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 国道9号道の駅ポート赤碕</p> <p>○所在地 鳥取県東伯郡琴浦町</p> <p>○管理者 中国地方整備局倉吉河川国道事務所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、「道の駅」における防災機能の強化を図る。</p> <p>○整備内容 ・道路管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (道路管理者) ・防災用トイレと防災用井戸の整備。 ・情報提供装置の整備。 ・非常用電源の確保。 ・災害対策室(通常時は会議室として利用)。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置づけ。</p> <p>○工夫の特徴 ・地方整備局と地方自治体間で、必要な機能について調整し、適切な役割分担を行い、相互間の連携を図っている。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・防災対策の項目は多岐に渡ることから、項目の抽出や情報収集、資料整理に苦労した。</p>		
位置図、計画図、写真等	<p>■防災拠点整備例 道の駅「ポート赤碕」(鳥取県)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>○ 防災対策室</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○ 非常用電源装置</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>○ 防災トイレ用受水槽</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>海産物直売所 屋外トイレ(防災用)</p> <p>至 米子市      国道9号      至 鳥取市</p> </div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○非常時の情報提供内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国管内の道路情報・交通規制情報。災害時は緊急情報を提供(屋内、屋外)</li> <li>・倉吉河川国道事務所管内の道路情報(屋内)</li> </ul> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>○ 情報提供装置 (屋外)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(屋内)</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (道の駅の防災活動拠点としての活用)	分野	道路
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	○名称 国道201号道の駅香春 ○所在地 福岡県 ○管理者 九州地方整備局 北九州国道事務所		
整備(計画)の概要	○目的 被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、「道の駅」における防災機能の強化を図る。  ○整備内容 (道路管理者) ・防災用トイレの整備。 ・情報提供装置の整備。 ・非常用電源の確保。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置づけ。 ・非常用電源の確保。 ・飲料水、食料の備蓄。  ○工夫の特徴 ・道路管理者と地方自治体が連携し必要な施設を整備、相互間の連携を図っている。		
位置図、計画図、写真等	<p>◆貯水施設</p> <p>◆防災備蓄倉庫</p> <p>◆防災用トイレ</p> <p>◆情報提供装置</p> <p>◆非常用電源装置 (防災備蓄倉庫内)</p> <p>【凡例】◆:国土交通省</p>		







社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (河川管理者と地方自治体との連携による、防災活動拠点の形成)	分野	河川
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 北広島市千歳川地区河川防災ステーション</p> <p>○所在地 北海道北広島市</p> <p>○管理者 北海道開発局 札幌開発建設部 千歳川河川事務所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 河川管理者と北広島市が連携して設置した河川防災ステーションを、水防以外の各種防災訓練等の実施の場として活用することで、地域の防災力向上に資する。</p> <p>○整備内容 ・河川管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (河川管理者) ・水防作業ヤード・緊急用資機材備蓄基地・水防活動支援機能など。 (地方自治体) ・市防災センターなど。</p> <p>○工夫の特徴 ・河川防災ステーションに市の防災センターを置き、事務所と市との連携を図っている。また、船着場等も活用して消防訓練をはじめとする各種防災訓練が行えるようにした。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・平常時の利活用をさらに工夫し、施設の市民への浸透を図ることで、防災意識の向上に繋げる必要があると考えている。</p>		
位置図、計画図、写真等	 <p>河川防災ステーション全景</p>  <p>消防による訓練の実施状況</p>  <p>警察による訓練の実施状況</p>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (河川管理者と地方自治体との連携による、防災活動拠点の形成)	分野	河川
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	○名称 旭川地区河川防災ステーション ○所在地 北海道旭川市 ○管理者 北海道開発局 旭川開発建設部 旭川河川事務所		
整備(計画)の概要	<p>○目的 洪水時における水防や復旧活動の拠点となる旭川地区河川防災ステーションと地震等の大規模災害時における情報収集や関係機関との連絡調整等の活動拠点となる総合防災センターを旭川市と連携して整備し、防災機能の強化を図る。</p> <p>○整備内容 ・河川管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (河川管理者) ・ヘリポート、水防活動スペース整備。 ・水防用根固めブロック、土砂、碎石等の水防資材やオイルフェンス等の水質事故対応資材備蓄。 (地方自治体) ・総合防災センター中核施設(消防司令センター、消防出張所、災害対策室、消防団会議室等)整備。 ・支援物資集配センター、消防防災訓練施設整備予定。 ・周辺は、災害時には防災公園となるスポーツ公園を整備。</p> <p>○工夫の特徴 総合防災センターは通常時、消防司令センターとして使用されている他、防災に関する各種講習・訓練等の様々な活動が行われ、地域の中核的な防災拠点として有効に活用されている。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・維持管理について、各々が整備した施設を維持管理することを基本に協定を締結しているが、旭川市所有地に備蓄する資材や整備した施設について一部は河川管理者が管理することとした。</p>		
位置図、計画図、写真等	<p>旭川市総合防災センター内の主な施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防災関係機関サテライト室 災害時 平常時を通じて、旭川河川事務所から各種連絡を実施していただくもので、特に、緊急時に対する各機関間の連絡が実施できます。</li> <li>コミュニティホール 災害時には此施設内専用や緊急救助隊待機所 防災ボランティアの拠点等に、また、平常時には大人数の研修や各種訓練等多目的に使用します。</li> <li>消防団水防倉庫 地域や各団体の倉庫等に使用する各種資材を保管する倉庫です。また、訓練時に出発のスペースとして使用でき、災害発生後速く入庫撤去が可能です。</li> <li>消防防災指令センター 火災や急病等の119番通報を受け、消防車・救急車の出動を指示し、状況が分かるまで119番通報した時点で、同時に通報受付が可能な消防指令システムが利用されています。</li> <li>災害対策室 災害時に於いて、市役をはじめ、自衛隊、警察建設部、警備隊が集まり、災害機能の強化、特に災害に対する連絡網の、旭川河川事務所との連携が図られています。</li> </ul> <p>◆水防資材備蓄状況 総合防災センター内倉庫</p> <p>【凡例】◆:国土交通省 ◇:地方自治体</p>		







社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (河川管理者と地方自治体との連携による、防災活動拠点の形成)	分野	河川
対象とする災害	洪水、地震		
社会資本の基礎データ	○名称 一関防災センター(あいぽーと) ○所在地 岩手県 ○管理者 東北地方整備局岩手河川国道事務所一関出張所		
整備(計画)の概要	○目的 北上川の災害時における防災拠点とするとともに、歴史と文化、災害と治水等の種々の情報を広く発信し、学習体験や流域内の交流を図るための総合情報拠点とする目的で施設を整備。 H20岩手宮城内陸地震現地対策本部として、状況把握と復旧対応の拠点として利用された。 東日本大震災時には、支援者や支援車両の待機場所として利用された。 ○整備内容 ・洪水時に各種情報を一元的に管理し、防災の拠点となる集中管理センターを整備。 ・災害時対策車両の集結スペースや臨時ヘリポートを整備。 ・非常用電源の確保。 ・北上川の歴史と文化、災害と治水など川について学習できる施設。 ○工夫の特徴 ・平常時は学習スペースとして活用し、災害時には防災拠点となる機能を有している。 ・防災教育の場としても活用している。 ○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・防災拠点ではあるが飲料水、食料や防災用品等の備蓄まではされていない。 ・整備効果を評価する手法が確立されていない。		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>災害支援車集結場所</p> <p>災害対策車集結場所</p> <p>臨時ヘリポート</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>災害対策車両等支援車の集結状況 (東日本大震災時)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>位置図 岩手県 あいぽーと</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>臨時ヘリポートの状況</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>一関防災センター 北上川学習交流館「あいぽーと」</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>出動指示を待つ支援者が 100人以上集結(東日本大震災時)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>H20岩手宮城内陸地震現地対策本部 全体打合せの状況</p> </div> </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (河川管理者と地方自治体との連携による、防災活動拠点の形成)	分野	河川
対象とする災害	洪水		
社会資本の基礎データ	○名称 阿賀野川きょうがせ防災ステーション ○所在地 新潟県 ○管理者 北陸地方整備局阿賀野川河川事務所、阿賀野市		
整備(計画)の概要	○目的 洪水時の水防活動の支援および緊急復旧活動の拠点として整備。 ○整備内容 ・河川管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (河川管理者) ・防災ヘリポート。 ・土砂・ブロック備蓄・作業スペース。 ・水防用樹林。 ・XバンドMPLレーダの設置。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置づけ。 ・水防センター。 ・水防資材の確保。 ○工夫の特徴 ・XバンドMPLレーダ; 河川管理者(北陸地整)が平成23年3月に同施設内に整備し、同年7月より新潟圏域の降雨観測情報(web画面)の配信を行っている。 XバンドMPLレーダは地上雨量計では捕らえきれない局地的な大雨をほぼリアルタイムで面的に把握することができ、平成23年7月新潟・福島豪雨における猛烈な降雨もとらえ、この観測情報(web画面)を配信した。		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 45%;">  <p>【位置図】</p> </div> <div style="width: 45%;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>【京ヶ瀬防災ステーション 全景】</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>【観測範囲】</p> </div> </div> <div style="width: 100%; margin-top: 10px;">  <p>【 XバンドMPLレーダ画像 (平成23年7月新潟・福島豪雨 平成23年7月30日2:00) 】</p> </div> </div>		



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (港湾を活用した防災活動拠点の形成)	分野	港湾
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	○名称 釧路港 北地区 旅客船ターミナル(耐震改良) ○所在地 北海道釧路市 ○管理者 北海道釧路市		
整備(計画)の概要	○目的 旅客船ターミナルの耐震強化岸壁、背後の緑地及び岸壁への接続道路を一体的に整備・利用することにより、災害時における緊急物資輸送・物流機能の確保を図る。 また、平常時には旅客船需要に対応した観光・交流空間を形成するとともに、地域のイベント等の会場となるなど地域振興が図られる。 ○整備内容 (国(北海道開発局)) ・岸壁(-9.0m)(改良)(耐震)、泊地(-9.0m)、港湾施設用地の整備。 (港湾管理者(釧路市)) ・緑地、道路の整備。 ・地域防災計画の位置づけ。 ・非常用電源の確保(自家発電)(災害対策本部内)。 ・非常用トイレ(災害対策本部内)。 ○工夫の特徴 ・港湾管理者、民間団体、北海道開発局等で構成する検討会等を設置し、相互間の連携を図った。 ○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・特になし。		
位置図、計画図、写真等	<p>位置図、計画図、写真等</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>旅客船利用状況</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>トイレ兼備蓄庫</p> </div> </div> <p>【凡例】 ◆：国土交通省 ◇：地方自治体 ( )：災害時機能</p>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (港湾を活用した防災活動拠点の形成)	分野	港湾
対象とする災害	地震、津波		
社会資本の基礎データ	○名称 堺泉北港堺2区基幹的広域防災拠点 ○所在地 大阪府 堺市 ○管理者 大阪府		
整備(計画)の概要	○目的 ・緑地の護岸について、災害時に浮体式防災基地を迅速かつ安全に係留できるような構造とし、防災機能の向上を図る。  ○整備内容 ・船舶接岸施設である浮体式防災基地の渡橋の受け台を緑地護岸に整備。		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">浮体式防災基地渡橋受け台</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">浮体式防災基地接岸状況</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p style="text-align: center;">緊急物資輸送状況</p> </div> </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (港湾を活用した防災活動拠点の形成)	分野	港湾
対象とする災害	地震、津波		
社会資本の基礎データ	○名称 みなとオアシス宇野(大規模地震発生時における拠点港湾:宇野港) ○所在地 岡山県 ○管理者 岡山県(港湾関連施設)、玉野市(産業振興ビル)		
整備(計画)の概要	○目的 被災時において、一時避難場所や復旧支援活動の拠点として、「みなとオアシス」における防災機能の強化を図る。  ○整備内容 ・港湾管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。  (港湾管理者) ・災害時に拠点港湾としての機能を備えている耐震強化岸壁を整備。 ・避難地、臨時駐車場としての港湾緑地の確保。  (地方自治体) ・玉野市地域防災計画へ臨海部防災拠点として位置づけ。 ・非常用電源の確保(設置者:一般財団法人玉野産業振興公社)。		
位置図、計画図、写真等	<p>■防災機能整備事例 みなとオアシス宇野「宇野港」(岡山県)</p> <p>非常用電源装置(ビル屋上)</p> <p>産業振興ビル (みなとオアシス宇野の中核施設)</p> <p>災害時における 避難地・臨時駐車場</p> <p>大型客船バース(耐震強化岸壁) と港湾緑地(救援・復旧支援基地)</p>		





社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の生活支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (都市公園を活用した防災活動拠点の形成)	分野	公園
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 国営越後丘陵公園</p> <p>○所在地 新潟県長岡市宮本東方町、他</p> <p>○管理者 国営越後丘陵公園事務所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 大規模地震災害等において、復旧支援活動の拠点として利用出来るオープンスペースの提供及び園内施設のシャワー室の一時解放など避難者等の支援活動を図っていた。</p> <p>○整備内容 (公園管理者) ・健康ゾーン(駐車場、暖の館、展望台、花と緑の館など)。 ・里山フィールドミュージアム整備(防災機能を備える緑地広場等の確保)。 (地方自治体) ・地域防災計画への位置付け(新潟県(後方支援拠点候補地(案))、長岡市(広域防災拠点となる都市公園))。</p> <p>○活用事例 平成16年新潟県中越地震時に自衛隊が復旧支援活動(炊き出しなど)の拠点や被災者へシャワー室の一時解放などとして活用。 平成19年新潟県中越沖地震時に自衛隊が復旧支援活動の拠点(通信中継施設)や避難所生活している方々を当公園のイベントに招待するなど避難者支援として活用。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ①地方自治体の地域防災計画での役割分担が明確となっていないため、有事の際における具体的な役割等の確認・調整が必要。そのため、関係機関との支援内容の明確化が課題。 ②今後整備する里山フィールドミュージアムでもある程度の平地の確保が必要。さらに水、電源などのインフラ、また、地方自治体管理である当公園へのアクセス道路からのアクセス強化の確保が課題。</p>		
位置図、計画図、写真等	<p>○災害復旧支援機能事例(公園活用事例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;主な提供施設&gt;</p> <p>駐車場—自衛隊駐留(復旧支援活動の拠点)</p> <p>展望台—自衛隊駐留(復旧支援活動の拠点)</p> <p>暖の館—シャワー室の一時解放(災害復旧支援)</p> <p>花と緑の館—イベント実施(災害復旧支援)</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>自衛隊駐留(駐車場(炊き出しなど)) 平成16年新潟県中越地震時</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>自衛隊駐留(展望台(通信中継施設)) 平成19年新潟県中越沖地震時</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  <p>イベント実施(花と緑の館(中学校卒業式)) 平成16年新潟県中越地震時</p> </div> </div>		



## 社会資本の多面的活用事例シート

機能(テーマ)	一時の避難支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (都市公園を活用した防災活動拠点の形成)	分野	公園
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 山梨県緑が丘スポーツ公園</li> <li>○所在地 山梨県甲府市緑が丘地先</li> <li>○管理者 山梨県中北建設事務所</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海地震による被災等の大規模災害発生時、自衛隊、消防の活動拠点として機能するよう整備を行う。</li> <li>また、DID区域内にある公園として、災害発生時には地域住民の避難地にも活用できるよう配慮した整備を行う。</li> </ul> </li> <li>○事業名                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備総合交付金 都市公園事業。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存都市公園の改修を行い、大規模災害発生時に自衛隊、消防の活動拠点として機能するよう整備を行う。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県地域防災計画に基づく県営公園の災害復旧部隊活動拠点化。</li> <li>・既存の県営都市公園を改修することで、活動拠点の新設と比べ用地費等の事業費を大幅に削減。</li> <li>・既存施設の耐震化や緊急車両の動線確保のための園路広場の段差解消など、防災機能の強化と共に、老朽化施設の改修といった公園としての機能及び魅力の向上を図る。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点・課題                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自衛隊及び消防との合同訓練など、実際に災害が発生した際を想定した訓練を、各部と連携して行う必要がある。</li> </ul> </li> <li>○周辺住民への周知方法                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民への周知等は行っていない。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>位置図、計画図、写真等</b></p> </div> <div style="width: 65%;"> <p style="text-align: right;">緑が丘スポーツ公園 防災公園整備 設計概要図 S=1,800(A1) S=1,1200(A3)</p> </div> </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (河川敷地を活用したヘリポートの形成)	分野	河川
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	<p>○名称 淀川河川敷緊急ヘリポート</p> <p>○所在地 大阪府摂津市一津屋地先(淀川河川公園 一津屋野草地区)</p> <p>○管理者 近畿地方整備局 淀川河川事務所</p>		
整備(計画)の概要	<p>○目的 災害時の物資輸送等。</p> <p>○整備内容 大型ヘリ(2ローター式)に対応するため、既存のヘリポート4箇所を撤去し、新たに2箇所のヘリポートを設置した。</p> <p>○工夫の特徴 阪神大震災の際に航空自衛隊の2ローター式の大型タイプのヘリコプターが物資輸送等で活躍したため、大型ヘリコプターが円滑に離着陸できるヘリポートを整備した。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ヘリ離着陸時の公園利用者等の安全の確保。</p>		
位置図、計画図、写真等	<p>淀川河川敷緊急ヘリポート(淀川河川公園 一津屋野草地区)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (庁舎敷地のドクターヘリ離発着場としての活用)	分野	河川
対象とする災害	災害全般		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 北海道開発局 札幌開発建設部 滝川河川事務所</li> <li>○所在地 北海道樺戸郡新十津川町</li> <li>○管理者 北海道開発局 札幌開発建設部 滝川河川事務所</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターヘリの運航に当たっては年間を通して安全かつ迅速に離発着可能なスペースの確保が必要である。当該事務所の地理的要件等を活かし、臨時離発着場として構内を提供することにより、地域における救急医療体制の強化を図る。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況機能がそのまま活用できるため、特に整備の必要なし。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災力向上へ取り組み課題について、消防機関と協議を行った結果、双方のニーズが合致した。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の防災施設等でも同様の連携が可能か模索中。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  <p style="color: red; text-align: center;">離発着イメージ</p> </div> </div>		



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (河川敷の緊急輸送道路としての活用)	分野	河川
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	○名称 名取川緊急輸送路 ○所在地 宮城県 ○管理者 東北地方整備局仙台河川国道事務所名取川出張所		
整備(計画)の概要	○目的 地震により住宅密集地の幹線道路が通行不能となった場合に、緊急の物資輸送等に利用できる代替ルートとして活用できる道路を河川敷きに整備する。  ○整備内容 ・河川管理者と地方自治体が連携し、必要な施設を整備。 (河川管理者) 河川区域内の緊急用河川敷道路を整備。 (地方自治体) 緊急用河川敷道路に接続する道路等の整備。  ○工夫の特徴 ・平常時には、サイクリングロード等として利活用している。  ○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・東日本大震災で河川へ津波が遡上したことを踏まえて、緊急用河川敷き道路の考え方を検討する必要がある。 ・整備効果を評価する手法が確立されていない。		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p><b>位置</b></p>  </div> <div style="width: 40%;"> <p>常時はサイクリング、遊歩道として利活用</p>  </div> <div style="width: 30%;"> <p>ヘリコプターによる救助訓練状況。 (緊急時にはヘリによる物資補給に活用)</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p><b>仙台市 市街地中心部</b></p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>■ 緊急用河川敷道路 整備済み</p> <p>■ 緊急用河川敷道路 整備予定</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>緊急用河川敷道路</p> </div>		

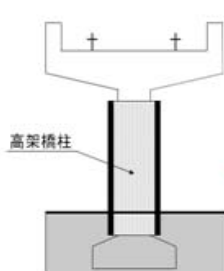
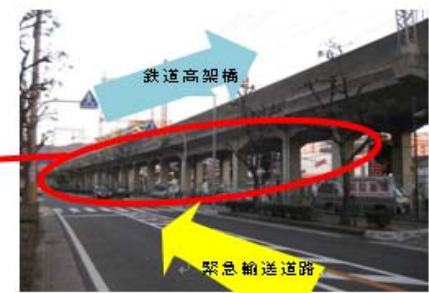
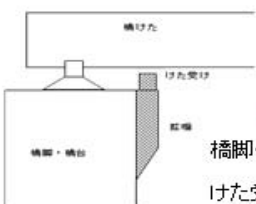



## 社会資本の多面的活用事例シート

機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (河川敷の緊急輸送道路としての活用)	分野	河川																																																																								
対象とする災害	地震																																																																										
社会資本の基礎データ	○名称 太田川緊急用河川敷道路 ○所在地 広島県(太田川放水路下流部) ○管理者 中国地方整備局太田川河川事務所																																																																										
整備(計画)の概要	<p>○目的 大地震等により道路の陥没や建物の倒壊、交通渋滞等によって道路の通行が困難となった場合に備えて、緊急物資の輸送、負傷者の搬送、消火活動、災害対応などを行う緊急用車両が通行する道路を確保し、迅速な災害対応を行う。</p> <p>○整備内容 ・広島県緊急輸送道路ネットワーク計画の一環として、広島市地域防災計画のなかに河川敷緊急輸送道路の整備を位置付けています。                  左岸:L=6.7km(距離標C1.4k~5.3k)                  右岸:L=6.5km(距離標C1.0k~5.3k)</p> <p>○工夫の特徴 ・地方整備局と地方自治体(広島県、広島市)等で構成された協議会を設置し、相互間の連携を図っている。</p> <p>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等 ・現時点で、未整備区間が残っているが、暫定的な活用を検討中。</p>																																																																										
位置図、計画図、写真等	<div style="text-align: center; border: 2px solid blue; padding: 5px; font-weight: bold; color: blue; font-size: 1.2em;">広島県緊急輸送道路ネットワーク計画</div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 30%;"> <p><b>緊急輸送道路凡例</b></p> <table border="1" style="font-size: 0.8em;"> <tr><th>緊急輸送道路の種類</th><th>記号</th><th>備考</th></tr> <tr><td>第一次緊急輸送道路</td><td>■ (高規格幹線道路)</td><td>高規格幹線道路</td></tr> <tr><td></td><td>■ (その他)</td><td>その他</td></tr> <tr><td></td><td>■ (追加・変更)</td><td>追加・変更</td></tr> <tr><td></td><td>■ (削除)</td><td>削除</td></tr> <tr><td>第二次緊急輸送道路</td><td>■ (追加・変更)</td><td>追加・変更</td></tr> <tr><td></td><td>■ (削除)</td><td>削除</td></tr> <tr><td>事業中の路線</td><td>■ (点線)</td><td>整備後に緊急輸送道路に指定候補となる道路</td></tr> <tr><td>フェリー航路</td><td>■ (点線)</td><td></td></tr> </table> </div> <div style="width: 30%;"> <p><b>防災拠点凡例</b></p> <table border="1" style="font-size: 0.8em;"> <tr><th>拠点的分類</th><th>記号</th><th>備考</th></tr> <tr><td>一次拠点</td><td>● (青)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>★ (青)</td><td>追加</td></tr> <tr><td>二次拠点</td><td>● (緑)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>★ (緑)</td><td>追加</td></tr> <tr><td>三次拠点</td><td>● (黄)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>★ (黄)</td><td>追加</td></tr> </table> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>【太田川放水路周辺の主な防災拠点】</b></p> <table style="font-size: 0.8em;"> <tr><td>(輸送拠点)</td><td>・五日市港(特定重要港湾)</td><td>(輸送拠点)</td><td>・広島西飛行場</td></tr> <tr><td></td><td>・草津漁港</td><td>(備蓄拠点)</td><td>・三滝橋下流河川敷(ヘリポート)</td></tr> <tr><td></td><td>・中央卸売市場</td><td>(物流拠点)</td><td>・大芝出張所(国)</td></tr> <tr><td></td><td>・西部流通センター</td><td>(備蓄拠点)</td><td>・広島避難場所</td></tr> <tr><td></td><td>・西部トラクターミナル</td><td></td><td>・総合グラウンド(県)</td></tr> <tr><td>(備蓄拠点)</td><td>・已斐出張所(国)</td><td></td><td></td></tr> </table> <p><small>※広島市地域防災計画には救援物資の受け渡しを行う輸送拠点として太田川河川敷を指定している。</small></p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>【標準断面図(河川敷道路イメージ)】</b></p> <p style="font-size: 0.8em;">多様性を持たせるため定規にこだわらない捨石構造とする。</p> </div>			緊急輸送道路の種類	記号	備考	第一次緊急輸送道路	■ (高規格幹線道路)	高規格幹線道路		■ (その他)	その他		■ (追加・変更)	追加・変更		■ (削除)	削除	第二次緊急輸送道路	■ (追加・変更)	追加・変更		■ (削除)	削除	事業中の路線	■ (点線)	整備後に緊急輸送道路に指定候補となる道路	フェリー航路	■ (点線)		拠点的分類	記号	備考	一次拠点	● (青)			★ (青)	追加	二次拠点	● (緑)			★ (緑)	追加	三次拠点	● (黄)			★ (黄)	追加	(輸送拠点)	・五日市港(特定重要港湾)	(輸送拠点)	・広島西飛行場		・草津漁港	(備蓄拠点)	・三滝橋下流河川敷(ヘリポート)		・中央卸売市場	(物流拠点)	・大芝出張所(国)		・西部流通センター	(備蓄拠点)	・広島避難場所		・西部トラクターミナル		・総合グラウンド(県)	(備蓄拠点)	・已斐出張所(国)		
緊急輸送道路の種類	記号	備考																																																																									
第一次緊急輸送道路	■ (高規格幹線道路)	高規格幹線道路																																																																									
	■ (その他)	その他																																																																									
	■ (追加・変更)	追加・変更																																																																									
	■ (削除)	削除																																																																									
第二次緊急輸送道路	■ (追加・変更)	追加・変更																																																																									
	■ (削除)	削除																																																																									
事業中の路線	■ (点線)	整備後に緊急輸送道路に指定候補となる道路																																																																									
フェリー航路	■ (点線)																																																																										
拠点的分類	記号	備考																																																																									
一次拠点	● (青)																																																																										
	★ (青)	追加																																																																									
二次拠点	● (緑)																																																																										
	★ (緑)	追加																																																																									
三次拠点	● (黄)																																																																										
	★ (黄)	追加																																																																									
(輸送拠点)	・五日市港(特定重要港湾)	(輸送拠点)	・広島西飛行場																																																																								
	・草津漁港	(備蓄拠点)	・三滝橋下流河川敷(ヘリポート)																																																																								
	・中央卸売市場	(物流拠点)	・大芝出張所(国)																																																																								
	・西部流通センター	(備蓄拠点)	・広島避難場所																																																																								
	・西部トラクターミナル		・総合グラウンド(県)																																																																								
(備蓄拠点)	・已斐出張所(国)																																																																										

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	一時の避難支援機能、災害応急対策・復旧支援機能 (河川敷の緊急輸送道路としての活用)	分野	河川
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 河川敷を代替緊急輸送路として整備(国土交通省)</li> <li>○所在地 大井川河川敷マラソンコース「リバティ」(焼津市・藤枝市・島田市)</li> <li>○管理者 島田市(島田市相賀地先～細島地先) ほか</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川敷を代替緊急輸送路として整備(国土交通省)。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・国土交通省が整備した河川敷の緊急輸送路を、平時はマラソンコースとして利用。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・四阿、ベンチなど附帯設備を整備。また、試験的に一部区間のコース両脇にソーラーライトを設置し、夜間利用と災害時の避難路として利用する際の誘導灯として利用する(島田市)。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係自治体との調整(コースが3市に及ぶため)。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">    </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (河川護岸の緊急船着き場としての活用)	分野	河川
対象とする災害	地震		
社会資本の基礎データ	○名称 河川護岸を災害時の緊急船着き場として利用できるように整備 ○所在地 一級河川利根川水系旧江戸川・千葉県市川市広尾地先 ○管理者 千葉県葛南土木事務所		
整備(計画)の概要	○目的 ・既設堤防耐震化に際しテラス型堤防に改修することで、隣接する市の防災公園との連携を考慮した緊急時船着場として利用する。 ○事業名 ・社会資本整備総合交付金事業。 ○整備内容 ・地域防災計画と連携したテラス型堤防の設置(船着場区間L=70m)。 ・当該区間の整備完了予定は平成26年度。 ○工夫の特徴 ・防災船(大型水上バスを想定)の離着岸を想定し、喫水深等の確保について考慮した。 (参考) 市川市広尾防災公園については、防災機能を備えた都市公園として平成17年度から事業着手し、平成22年度に開園しています。 <a href="http://www.city.ichikawa.lg.jp/gyo07/1112000001.html">http://www.city.ichikawa.lg.jp/gyo07/1112000001.html</a>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>位置図</p> <p>(一)旧江戸川</p> </div> <div style="width: 45%;"> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>公園整備(市川市)</p> <p>盛土工</p> <p>△AP+6.27</p> <p>△AP+2.6</p> <p>△AP-3.0</p> <p>災害時に緊急船着場</p> </div>		

社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (鉄道施設の耐震化による発災時の緊急輸送道路等の確保)	分野	鉄道
対象とする災害	地震、津波		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 緊急輸送道路等と交差又は並行する高架橋・橋りょう</li> <li>○所在地 緊急輸送道路等と交差又は並行する箇所</li> <li>○管理者 主に鉄軌道事業者</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送道路等に影響を及ぼす、鉄道施設(高架橋・橋りょう)の耐震補強を行うことにより、大規模地震発生時に、鉄道利用者の安全を確保するだけでなく、救助活動や緊急支援物資の輸送等の役割を果たす緊急輸送道路の確保を図る。</li> </ul> </li> <li>○整備内容                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急輸送道路等と交差又は並行する鉄道施設の耐震補強。</li> </ul> </li> <li>○工夫の特徴                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業を推進するため、平成24年度は、対象鉄道事業者・地域によっては、国及び地方公共団体による補助制度が設けられている(平成25年度も要求中)。</li> </ul> </li> <li>○調整で苦労した点、制度的・技術的課題、今後の検討課題等                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高架下が利用されている場合、高架下利用者との調整に時間を要する場合がある。</li> </ul> </li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<p style="text-align: center;">■ 緊急輸送道路と交差又は並行する高架橋・橋りょうの例</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>【高架橋の耐震補強】</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>【橋りょうの落橋防止】</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  </div> </div>		



社会資本の多面的活用事例シート			
機能(テーマ)	災害応急対策・復旧支援機能 (上空からの被災位置確認に資する道路等への路面標示の付加)	分野	道路
対象とする災害	地震、風水害		
社会資本の基礎データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○名称 国道8号、17号みち位置情報(路面標示)</li> <li>○所在地 新潟県</li> <li>○管理者 北陸地方整備局長岡国道事務所長岡維持出張所、柏崎維持出張所、小出維持出張所</li> </ul>		
整備(計画)の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的 緊急を要する人命救助や速やかな被災者支援、災害復旧などの対応には、被災位置の特定が重要となることから、路面標示により災害発生時のヘリなどによる上空からの位置の確認を迅速、確実にする。</li> <li>○整備内容 道路の距離標や主要な地先名を歩道や駐車場内に上空から確認できるよう路面に表示。</li> <li>○工夫の特徴 汎用性のある通常の区画線材料により施工。 歩道や駐車場内への設置とすることで、法定路面標示への影響を避ける。</li> </ul>		
位置図、計画図、写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p><b>位置図</b></p> <p>凡例 — 一般国道 — 高速自動車道</p> </div> <div style="width: 35%;"> <p><b>設置状況</b></p> <p>道の駅駐車場内</p> <p>距離標 264km地点</p> <p>橋梁名 堀之内橋</p> </div> </div>		

### 3. 多面的活用の導入についてのアンケート結果の分析

他事業への展開を図る上で検討すべき、行政的課題や技術的課題を抽出することを目的として、事例の収集と合わせて地方自治体を対象としてアンケートを実施した。以下にその結果を示す。

#### 3.1. 自治体での多面的活用の導入状況

調査を行った地方自治体のうち、事例があると回答した地方自治体は、回答のあった765団体中、146団体であった。約2割の自治体で導入の事例がある（図3-1）。

行政区別にみると、都道府県や政令指定都市など比較的広域な自治体は導入の事例があるのに対し、規模が小さい自治体ほど導入が進んでいない状況である。

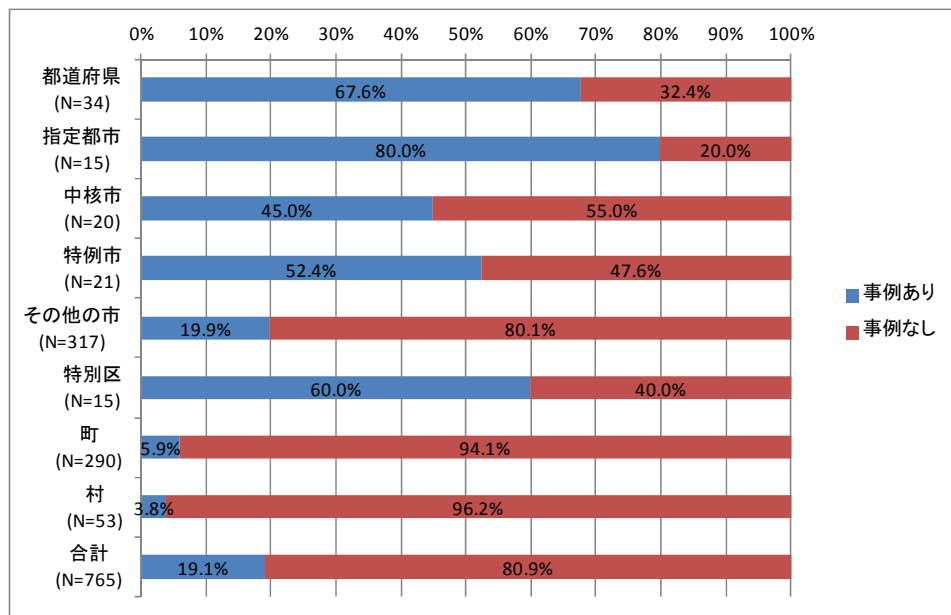


図 3-1 既存社会資本の多面的活用の導入の状況（N：自治体数）

### 3.2. 災害別の活用の状況

地方自治体から収集した 225 事例のうち有効事例として扱った 197 事例に関して、災害別に整理した。

活用事例を災害別にみると、「地震」と「津波」で全体の約 8 割である。また「洪水」「大火」を含めると全体の約 95%となる。一方で、「高潮」「火山噴火」については、活用の事例が挙げられなかった（図 3-2）。「台風」は、事例シートの「対象とする災害」には明示されていないが、アンケート調査票に想定災害として選択されていた分を集計した。なお、本節以降のグラフで、無回答分を差し引いた結果、事例の総数が 197 未満となっているものがある。

また、活用事例を機能類型別にみると、「災害防護施設（多重防御）としての機能」は「地震」、「津波」、「洪水」、「大火」等、様々な災害で活用されていることに対し、「一時の避難支援機能」は津波に多く活用されている。また、「一時の生活支援機能」や「災害応急対策・復旧支援機能」は地震に多く活用されている（図 3-3）。

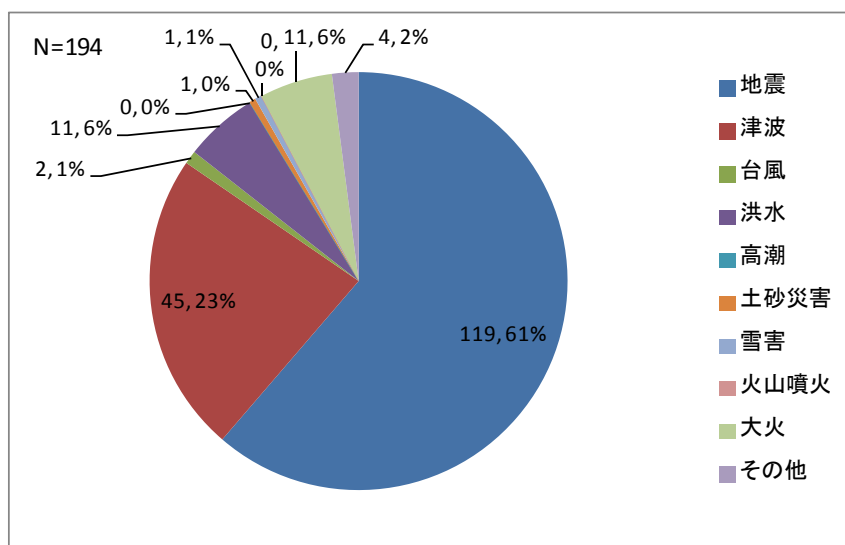


図 3-2 災害別の既存社会資本の多面的活用の状況（N：事例数）



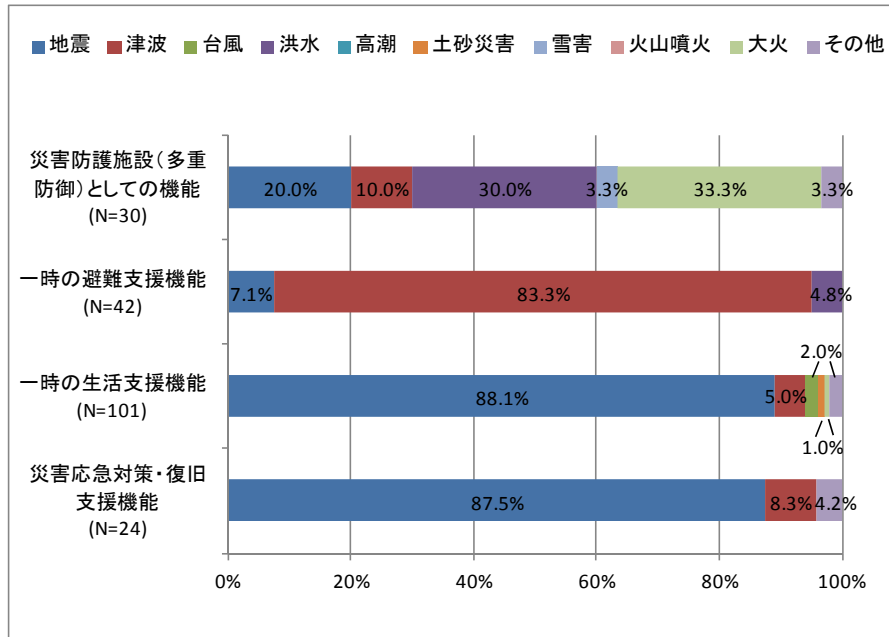


図 3-3 災害別の既存社会資本の多面的活用の状況（機能類型別・N：事例数）

### 3.3. 施設（分野）別の活用の状況

有効事例として扱った 197 事例に関して、施設別に整理した。

活用事例を施設別にみると、「都市公園」や「学校」に関する事例が比較的多く、全体の約半数を占める（図 3-4）。

また、活用事例を機能類型別にみると、「災害防護施設（多重防御）としての機能」は「道路」、「河川」、「下水道」、「学校」等で多く活用されている。また、津波に対して多く導入されている「一時の避難支援機能」は、「道路」、「砂防」、「学校」等で多く活用されている。また、「一時の生活支援機能」は「都市公園」、「学校」での活用事例が多い。さらに「災害応急対策・復旧支援機能」は「河川」、「都市公園」等で多く活用されている（図 3-5）。

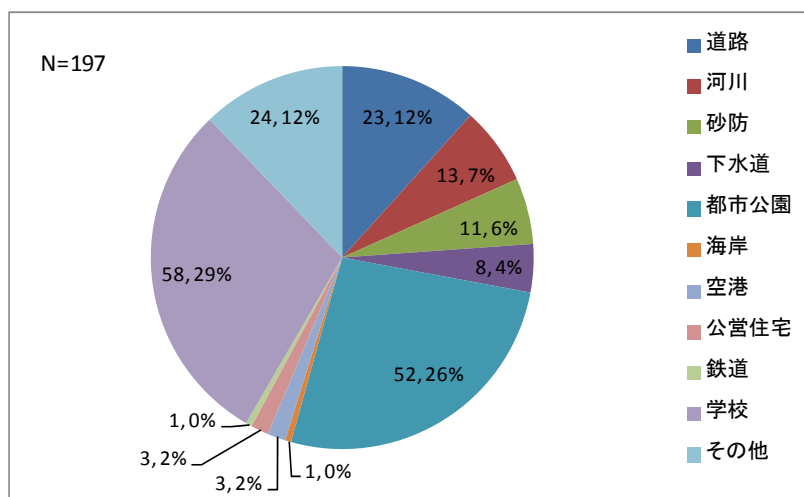


図 3-4 施設別の既存社会資本の多面的活用の状況 (N: 事例数)

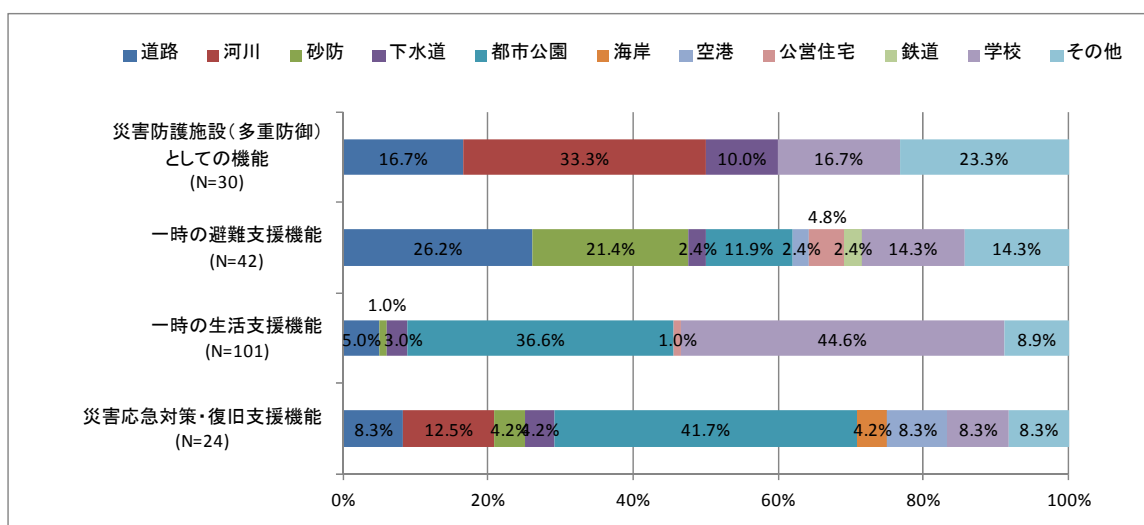


図 3-5 施設別の既存社会資本の多面的活用の状況 (機能類型別・N: 事例数)

### 3.4. 事例を導入する上での課題

有効事例として扱った 197 事例に関して、事例の導入にあたって、苦労した点や今後の検討課題など、事例を展開していく上での課題を確認した。

社会資本の多面的活用を推進していく上では、「整備資金の工面」及び、「整備上必要なステークホルダーとの調整」や「施設管理者との調整」が苦労した点や課題であるとの回答が比較的多い（図 3-6）。

また、事業の段階ごとにみると、構想段階では総じて苦労した点や今後の検討課題が多く、特に、「補助制度」、「整備資金」等の資金面や、「整備上必要なステークホルダー」や「施設管理者」との調整が課題であるとの回答が多い。計画・要望段階では、特に「整備資金」、「効果の説明」、「各種実施計画との整合」等が課題であるとの回答が多い。また、実施済の段階では、「整備上必要なステークホルダー」、「施設管理者」との調整が課題であるとの回答が多い（図 3-7）。

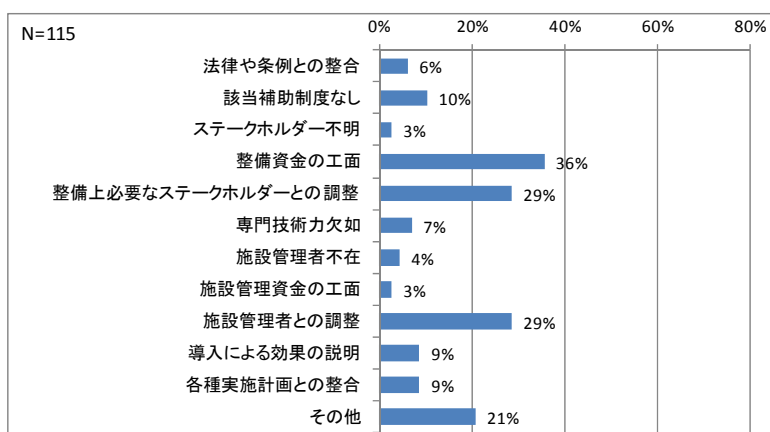


図 3-6 事例を導入する上での課題（N：事例数）

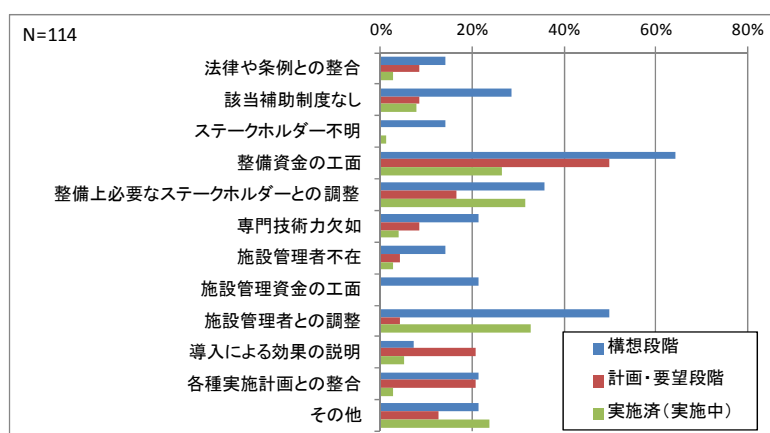


図 3-7 段階別：事例を導入する上での課題（事業の段階別・N：事例数）